

北九州まちづくり応援団株式会社

I 法人の概要（平成 27 年 4 月 1 日現在）

- 1 所在地 北九州市小倉北区魚町二丁目 2 番 11 号
- 2 設立年月日 平成 17 年 6 月 27 日
- 3 代表者 代表取締役社長 原田 康
- 4 資本金 32,000 千円
- 5 北九州市の出資金 1,000 千円（出資の割合 3.1%）
- 6 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役員	7 人	0 人	0 人	7 人
常 勤	1 人	0 人	0 人	1 人
非常勤	6 人	0 人	0 人	6 人
職員	30 人	0 人	0 人	30 人

II 平成 26 年度事業実績

小倉及び黒崎地区の中心市街地の賑わい創出のため、①指定管理事業、②中心市街地活性化事業、③賑わいイベント事務局事業、④北九州市からの受託事業、⑤商店街支援をはじめとする補助金事業、⑥「サンリオ小倉ビル」管理事業、⑦「ニューながしまフード」事業を実施した。

指定管理事業（小倉城・小倉城庭園・水環境館）については、小倉城が耐震工事のため、4 月 1 日から 12 月 13 日まで閉城となり、入場者数が大幅に減少した。

中心市街地活性化事業及び賑わいイベント事務局事業については、概ね予定通りの活動ができ、小倉・黒崎地区の中心市街地の賑わいづくり・活性化に寄与することができた。

北九州市からの受託事業（小倉地区・黒崎地区）については、中心市街地活性化基本計画が終了し、北九州市からの委託料が大幅に減少したため、体制の見直しや経費の削減に努めた結果、黒字を確保することができた。

補助金事業については、商店街支援として平成 25 年度に受託した（株）全国商店街支援センターの商店街の創業支援事業並びに北九州市の起業支援型地域雇用創造事業を継続して受託した。その結果として、子育てママたちの交流を図るための Web サイトとママトモでの実際交流との相乗効果でコミュニティの立ち上げが実現した。

また、本事業終了後、当社自主事業として若いママ向けの無料情報誌「リトルママ北九州版」の発行を検討し、試験的に実施したものの、広告料収入が予想を大きく下回り、改善の目途が立たなかったため、昨年 12 月をもって事業を終了した。

「サンリオ小倉ビル」管理事業については、1 階テナントの「カルディー」の来店者が順調に推移していることから、安定的な賃料を得ることができている。2 階テナントの「ママトモ」については、商店街と連携したイベントなどを通じて託児施設「ママトモ」の認知 PR 活動を行ってきた結果、徐々に有料託児人数が増加してきている。また 3 階多目的スペースについては、子育て支援講座などへの貸出

しを推進したことにより利用件数が増加するとともに、講座期間中「ママトモ」への有料託児人数の増加にもつなげることができた。

なお、本ビルを賃借するにあたり、ビルの改修費用については、経済産業省からの補助金約1,600万円と銀行からの借入金により調達しているが、銀行借入金については、予定通り返済を進めており、当期末の借入金残高は824万円となっている。(返済完了は、平成34年9月末予定)

「ニューながしまフード」事業については、厳しい事業環境の中、商店街イベントへの積極的な参加、展示方法の変更・他地域の特産店との連携強化などに取り組んできたが、黒崎地区に新たに大型商業店舗がオープンした影響が大きく、売上の落ち込みが改善せず、赤字計上することになった。

これらの結果、当期の収入は、2億9,179万円と前年を大きく下回り、1,174万円の経常損失を計上し、前期を大きく下回る結果となった。

Ⅲ 平成 26 年度決算

1 貸借対照表

平成 27 年 3 月 31 日現在 (単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
【流動資産】	51,033,909	【流動負債】	27,038,855
現 金	2,442,407	買 掛 金	1,300,872
預 金	26,279,953	未 払 費 用	14,202,622
商 品	5,372,412	未 払 法 人 税 等	611,000
貯 蔵 品	1,926,295	預 り 金	5,138,321
仮 払 金	200,000	仮 受 金	27,840
未 収 入 金	14,807,842	未 払 消 費 税	2,758,200
立 替 金	5,000	預 り 敷 金	3,000,000
【固定資産】	10,895,841	【固定負債】	8,240,000
(有形固定資産)	(7,105,841)	長 期 借 入 金	8,240,000
建 物	4,336,579	負債合計	35,278,855
建 物 附 属 設 備	2,769,262	(純資産の部)	
(投資その他の資産)	(3,790,000)	【株 主 資 本】	26,650,895
投 資 有 価 証 券	60,000	資 本 金	32,000,000
出 資 金	10,000	(利益剰余金)	(▲ 5,349,105)
差 入 保 証 金	600,000	そ の 他 利 益 剰 余 金	▲ 5,349,105
敷 金	3,120,000	繰 越 利 益 剰 余 金	▲ 5,349,105
資産合計	61,929,750	純資産合計	26,650,895
		負債・純資産合計	61,929,750

2 損益計算書

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日 (単位：円)

科 目	金 額	
【売上高】		
事業収入金	97,834,852	
店 売 上	27,867,567	
小倉城関連売上	166,086,368	291,788,787
【売上原価】		
期首棚卸高	2,610,887	
小倉城関連売上原価	9,470,712	
仕 入 高	65,264,024	
※ 合計 ※	77,345,623	
期末棚卸高	▲ 5,372,412	71,973,211
売上総利益金額		219,815,576
【販売費及び一般管理費】		233,764,221
営業損失金額		▲ 13,948,645
【営業外収益】		
受取利息	8,249	
雑 収 入	2,377,390	2,385,639
【営業外費用】		
支払利息割引料	109,392	
雑 損 失	65,951	175,343
経常損失金額		▲ 11,738,349
税引前当期純損失金額		▲ 11,738,349
当期純損失金額		▲ 11,738,349

IV 平成 27 年度事業計画

「北九州市中心市街地活性化基本計画」（小倉地区・黒崎地区）が平成 26 年 3 月末で終了し行政の関連予算が大幅に減少したこと、並びに前期に大幅な欠損を計上したことなどにより、不採算部門の廃止や事業規模の縮小などの見直しを行い、今期は、①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業、④北九州市からの受託事業、⑤「サンリオ小倉ビル」管理事業等に取り組む。

これらの活動を通して引き続き、小倉・黒崎地区の賑わいづくり・活性化に寄与していきたいと考えている。

指定管理事業（小倉城・小倉城庭園・水環境館）については、耐震工事も終了し、今期から 1 年間を通じて様々なイベント・講習会などを開催していく予定である。

共通駐車券事業については、新規活用店舗や利用駐車場の拡充に努めるとともに、より効果的な事業 PR ツールについての研究を行う。

賑わいイベント事務局事業については、「紫川にぎわいづくり実行委員会」が今期は実施されないため減収となるが、冬の小倉を彩る「小倉イルミネーション実行委員会」事務局業務は例年どおり受託を予定しており、イルミネーション初日の大乾杯大会も例年どおり開催を予定している。

北九州市からの受託事業（小倉地区・黒崎地区）については、今期も引き続き事業受託を予定しているが、市からの委託料が前期に比べ減少となるため、小倉・黒崎地区での体制を見直し、人員削減等のコスト削減に努める。

「サンリオ小倉ビル」管理事業については、1 階テナントの「カルディー」への来店者が順調に推移していることから、安定的な賃料を確保できると考えている。2 階テナントの「ママトモ」については、引き続き有料託児人数を増やすためママトモの認知 PR 活動を推進するとともに、市から小規模保育施設の認定を受けられるよう支援する。また 3 階多目的スペースも、前期同様「子育て支援講座」などへの貸出しを推進し、2 階「ママトモ」への有料託児と併せて収入となるよう努める。

「ニューながしまフード」事業については、売上減少に歯止めがかからず黒字化への見通しが立たないため、関係者への周知期間を経た後、すみやかに事業清算する。

これらの結果、第 11 期の売上高 2 億 7,035 万円を見込んでおり、事業清算関連費用等を勘案し、経常利益は 10 万円を計画している。

V 役員名簿

平成 27 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役会長	利 島 康 司	北九州商工会議所会頭
代表取締役社長	原 田 康	北九州商工会議所副会頭
取締役	中 村 涉	北九州商工会議所参事
取締役	甲 山 博 美	小倉中央商業連合会理事長
取締役	田 島 裕 美	北九州市小倉北区長
取締役	岡 田 孝 徳	
監査役	前 川 義 広	西鉄バス北九州(株)代表取締役社長